

災害などの緊急時に 「wi-radio」を活用してください!

☎ 企画課企画調整係
(市役所 2階 ☎23-3331 内線212~214・218)

「wi-radio」では、地域に密着した情報のほか、災害などの緊急時に災害状況や避難の情報などを放送します。

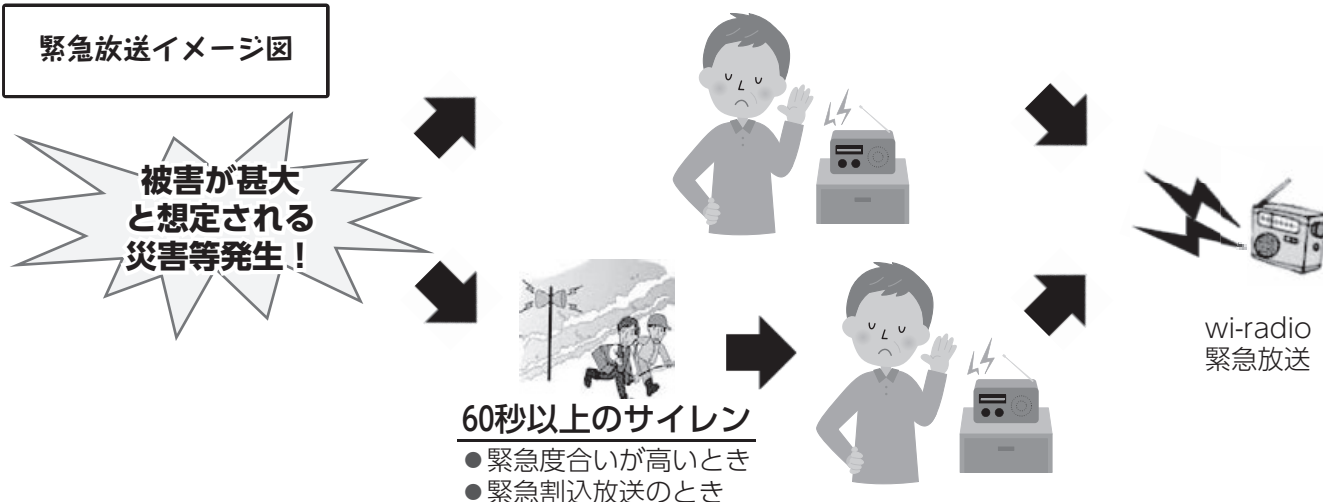
ラジオは電池で動き、どこでも簡単に聴くことができる、災害時の有力な情報源です。

緊急時の地域情報を取得する手段として「wi-radio」をぜひ活用してください。

📺 こんなときに緊急放送を行います

- 有珠山噴火など、生命、身体、財産に重大な被害を及ぼす災害が発生したとき
- 震度4以上の地震発生時や大雨、洪水などの警報発令時に、避難や警戒の呼びかけが必要なとき
- その他、緊急放送が必要と思われる災害が発生したとき
- 緊急度合いが高い災害時には、防災行政無線などのサイレンを60秒以上（正午のお知らせの4倍以上の長さ）鳴らすので、それを合図に「wi-radio」を聴いてください。
- 災害時に「wi-radio」ですぐに情報を発信できない場合は、各自治体が、通常のラジオ放送に割り込む「緊急割込放送」を行います。

緊急放送イメージ図



📺 FMラジオが聴きにくい場合の対処法

- ① 送信所（洞爺湖町ザ・ウィンザーホテル）や各中継局（大滝中学校、久保内墓地）方向の窓際にラジオを置く。



- ② ラジオの電源コードをアンテナに巻く。



- ③ T字型FMアンテナを設置する。
※ T字型アンテナはホームセンターや、一部の電気店で販売しています



※ 「wi-radio（ワイラジオ）」とは、今年4月に開局予定の1市3町（伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）コミュニティFM放送局のことです

青少年非行防止・健全育成広報

青少年指導センターだより ～地域の子どもは地域で守り育てよう～

〒市青少年指導センター (☎23-3331 内線511)



不審者情報メール
QRコード

ネットに 振り回されていませんか？

止めようとしても止められないネット。いつもスマートフォン(多機能携帯電話、スマホ)を持ち歩き、画面に触れていなければ、不安でイライラするような状態になっていませんか？

スマホを利用する小中高生が増え、いじめや依存症の問題が目立ち始めています。ゲームや情報交換に没頭し睡眠不足になるなど、日常生活や健康にも影響を及ぼしています。

4月の進学や進級をきっかけに、子どもにスマホを買い与えたり、携帯電話からスマホに買い替えたりする家庭も多いと思いますが、親は買い与えた以上、子どもがどんな使い方をしているのか、どんなアプリを利用しているのかなどを把握しておく必要があります。

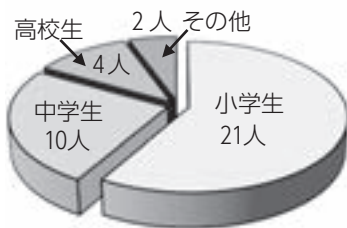
ネットに振り回されず、トラブルや犯罪から子どもを守るために、日頃から、子どものネット利用に関心を持ち、注意深く見守っていくことが大切です。

- 風呂やトイレには持ち込まない
 - 食事中は使わない
 - フィルタリングを設定する
 - 個人情報や悪口を書き込まない
 - 困った時は必ず親に相談する
- など、家庭内で使い方のルールを作ることも必要です。

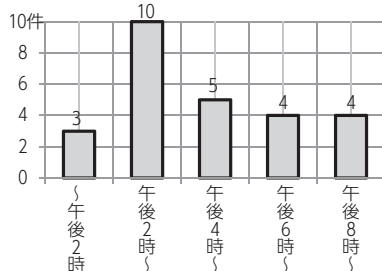
不審者から 子どもを守るために

指導センターに寄せられた不審者情報は26件(1月末現在)で、その多くは「声かけ」や「つきまとい」です。被害者数は37人で、被害者全体の83%が小・中学生、性別では81%(30人)が女子です。また、下校時間帯になる「午後2時～6時」の発生が57%(15件)を占めています。

被害者内訳



発生時間帯



指導センターに寄せられた
不審者情報件数

行為別	件数
不審者 (声かけ、つきまとい)	17
不審電話 (卑猥な話をする)	2
暴力・痴漢行為 (腕をつかむ、身体に触れる)	2
誘惑 (カラオケに誘う、メールアドレスを尋ねる)	2
その他 (にらむ、近づき、頭をなでられる)	3

例年、春先の4月から6月にかけて多く発生しています。進学、進級で心ときめく新学期は、行動範囲も広がり危険に対する意識や警戒心も薄らぎやすいので、1人で遊ばない、ついて行かない、大声を出して逃げするなど、危険から身を守る手段や方法を教えながら、家庭で子どもの安全について話し合ってみましょう。

子どもから、不審な人や車を見かけたり、声をかけられたりした話を聞いたときは、すぐに警察や学校、指導センターに連絡してください。

地域の自治会などに自主的な防犯組織がある場合は、連絡して情報を共有し合うことも大切です。

